

レッツ体感・リサイクル！ リメイクファッションコンテスト間近に迫る!!

来る10月6・7・8日、小名浜は港フェスティバル一色に染まります。SEA級グルメ選手権や太平洋諸国舞踊祭、いわき大物産展など様々なイベントが、小名浜港アクアマリンパークを会場に催されるのです。

このフェスティバルの特設ステージ上で、本会主催の「レッツ体感・リサイクル！ リメイクファッションコンテスト」が実施されることになりました。これは、震災前年までは、いわき産業祭の中で行っていたもので、いわき市からの委託事業として進めている福島県緊急雇用対策事業「ファイバースイクル製品開発人材育成事業」の一部として行われるものです。

市内外の多くの方から古着・古布を活用した作品を募り、ファッションショー形式の審査会を行います。また、アトラクションとして、一昨年お招きし好評を博した茨城県ひたちなか市在住のデザイナー山口千恵子氏による「きものサンバSHOW」の再演も行う予定です。是非、ひとりでも多くの市民の皆様が会場においで頂き、古着が素敵に再生するさまを実感していただきたいと思ひます。



各町村の交流サロン始まる!

小名浜地区交流サロンを会場に9月より毎週火曜日、双葉8町村のサロンが開催されるようになりました。原発事故で避難を余儀なくされた方たちのうち、すでに市内の借り上げ住宅に住んでおられる方については、仮設住宅入居者に比べ住民自身お互い住所などの情報がつかめず連絡を取りたいがなかなか難しいといった問題を抱えていました。

この度、福島県相双保健福祉事務所の皆様が中心となって小名浜地区交流サロンを活用し住民同士が集い存分に語れる場をスタートさせました。

9月4日に開催された第1回目の富岡町のサロンでは30人ほどの方々が集い「会いたかったよ～元気だったかね」「久しぶりに会えて嬉しい」といった再会を喜ぶ姿や「あの人はどこに住んでんのかな」といった会話が飛び交い、短時間でしたが楽しく過ごされていました。3月までの日程が決まっていますので一人でも多くの皆さんに利用していただきたいと思ひます。

交流サロン日程表	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1火曜日 ■富岡町	4日	2日	6日	4日	休み (元旦)	5日	5日
第2火曜日 ■双葉町 ■大熊町	11日	9日	13日	11日	8日	12日	12日
第3火曜日 ■広野町 ■川内村	18日	16日	20日	18日	15日	19日	19日
第4火曜日 ■南相馬市 ■浪江町 ■葛尾村	25日	23日	27日	25日	22日	26日	26日

イベントカレンダー

- 10月1日(日) 上荒川ヨークベニマルついたちバザー
- 6～8日 小名浜みなとフェスティバル
- 8日(月)祝 リメイクファッションコンテスト
- 13日(土) 中高生による水俣研修報告会(ラトブ)
- 23日(日) アクロスプラザ大原定例バザー
- 11月1日(木) 上荒川ヨークベニマルついたちバザー
- 3～4日 おさがりバザー(アクロスプラザ大原)
- 25日(日) アクロスプラザ大原定例バザー
- 12月1日(土) 上荒川ヨークベニマルついたちバザー

水俣の学びをいわきに

8月20日から25日まで、いわき市内の中高生15名が熊本県水俣市を訪問しました。

目的は、水俣市のこれまでの取り組みの中で得られた教訓をいわきの将来に生かすため。

水俣病による風評被害やコミュニティの断絶からの地域再生は、これからのいわきが辿るべき道筋に違いありません。

彼らの代表から、手紙が届きました。

皆さんにも読んでいただきたいと思ひます。

…(前略)…震災直後から、私たちの学校は約3ヶ月避難所になりました。被災された皆さんと生活する中で、私たちは、この人たちのために、そしていわき市の復興のために、出来ることを考えてきました。そして、昨年10月からは思いを行動に移すために、炊き出しの方々のお手伝い、仮設住宅でのクリスマス会のお手伝い、他県の中学生と一緒に行ったガレキ撤去など、私たちの出来る様々なボランティアを行って来ました。

今年度生徒会総会で、私たちの住んでいる町は私たちの手で復興させようという事を決めました。そのために「道」をテーマとして掲げました。ここでいう「道」とは、復興への道や未来への道を、自分たちの力で切り開いていくという意味です。4月から、地域の草刈り、お祭のお手伝い、市の復興イベントのお手伝いなどを行って来ました。

そんな中で、私たちが水俣市に行った事で私たちの進むべき方向がはっきりしたように思ひます。私が水俣の研修で一番学んだ事は、いわき市のみんなが「絶対に復興できる」という信念を持って互いに協力しなければ復興は出来ないという事でした。今、いわき市には津波で財産や家族を失ったために、未来への一歩を踏み出せない多くの人がいます。一方では、震災の事を過去のものにしてしまっている人も沢山います。さらに、原発事故で多額の補償金をもらって、一見裕福そうに生活している避難民の方々など、色々な生活をしている方々がいらっしゃいます。一番の問題は、これらのみなさんが互いに協力し合えないことです。実は、同じ事が水俣でも起きていました。そして、そのために水俣では復興するまでに多くの時間がかかったそうです。水俣の復興のきっかけになったのは、市民の力でした。水俣を復興させようとするリーダーたちの力でした。今でも、その時活躍した人達は、水俣の復興の様子を語り続けています。今のいわき市でも、その様な市民やリーダーが必要だと思ひます。私たちは中学生ですから、その様な力はありません。でも、私たちに市民のみなさんを団結させる小さな力になれると思ひています。ですから、これからも私たちは復興は私たちの手でしなければならないという信念を持って、ボランティアをし続けます。9月16日には、地域の老人の方々のために、敬老会を企画しています。今年最大のボランティアです。水俣で学んだことを生かして、みなさんが団結する力を持てる会にしたいと思ひています。…(後略)…

いわき市立湯本第二中学校 代表 見山友香

(注: 事実とそぐわない部分もあるかと思ひますが、原文のまま掲載しました)

きっと楽しい敬老会になったことでしょう。明日のいわきの担い手である彼らの学びを、一人でも多くの皆さんと共有したいと、彼らの報告会を企画しました。

また、水俣病資料館で語り部として活動しておられる川本愛一郎さんを招いて、水俣からのメッセージも届けていただきます。是非、ご参加下さい。

水俣に学ぶ中高生による 水俣研修報告会

- と き 10月13日(土) 18:30~20:30
- と ころ ラトブ6F 会議室1
- 内 容 ● 中高生による水俣研修報告
● 川本愛一郎さんによる講話「水俣からのメッセージ」
- 主 催 特定非営利活動法人 ザ・ピープル
- 協 力 一般社団法人 インターナショナルメディカルコープス
特定非営利活動法人 れんげ国際ボランティア会
- 後 援 3.11被災者を支える
いわき連絡協議会



私たちの活動を会員として支えて下さい。会費納入をよろしくお願い致します。
会費: 活動会費(実際に活動に参加される方と、会報の講読という形で支援して下さる方) 2,000円/年
賛助会員(資金的な面から支えて下さる方と法人・団体会員) 10,000円/年
郵便振替(02110-0-24908)でお送りください。